

恩納村のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入されたごみ量はここ数年横ばいして微増傾向にありましたが、令和2年度のごみ量は、前年度と比較して減少しておりました。村民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額でありますので、恩納村が推進する4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)、ごみ分別の取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要がありますのでご協力ください。

1. 令和2年度ごみ処理経費

経費区分	金額	村民1人当たり年間負担金額	1世帯当たり年間負担金額
ごみ収集運搬等諸経費	2,198万円	1,978円	3,978円
負担金	ごみ処理経費	1億7,544万円	15,788円
	最終処分費	350万円	315円
ごみ処理総事業費	2億92万円 (1億8,758万円)	18,081円 (16,951円)	36,359円 (34,494円)

*()内の数値は令和元年度実績です。



リサイクリンちゃん

2. ごみ搬入量

ごみの種類	令和元年度	令和2年度	前年度比較	村民1人当たり1日の排出量	1世帯当たり1日の排出量	
可燃ごみ	5,547 トン	4,300 トン	-1,247 トン	1,060.2 グラム	2,131.9 グラム	
不燃ごみ	141 トン	145 トン	4 トン	35.8 グラム	71.9 グラム	
粗大ごみ	93 トン	175 トン	82 トン	43.1 グラム	86.8 グラム	
資源ごみ	缶類	83 トン	65	-18 トン	16.0 グラム	32.2 グラム
	びん類	291 トン	224 トン	-67 トン	55.2 グラム	111.0 グラム
	ペットボトル	82 トン	73 トン	-9 トン	18.0 グラム	36.2 グラム
	古紙類	0	113 トン	113 トン	27.9 グラム	56.0 グラム
合計	6,237 トン	5,095 トン	-1,142 トン	1,256.2 グラム	2,526.0 グラム	

種類	令和元年度	令和2年度	前年度比較
缶類	68 トン	53 トン	-15 トン
金属類	65 トン	93 トン	28 トン
びん類	277 トン	211 トン	-66 トン
ペットボトル	74 トン	64 トン	-10 トン
古紙類	0 トン	89 トン	89 トン
蛍光管	3 トン	2 トン	-1 トン
乾電池	5 トン	5 トン	0 トン
スラグ	390 トン	293 トン	-97 トン
メタル	4 トン	4 トン	0 トン
合計	886 トン	814 トン	-72 トン

*令和2年3月末の人口11,066人、世帯数5,438世帯、平成31年3月末の人口11,005人、世帯数5,295世帯です。

*端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。

*資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破砕・分別して出てきたものです。

*資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

*負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費を恩納村から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

4. 最終処分量

種類	令和元年度	令和2年度	前年度比較
飛灰	178 トン	140 トン	-38 トン

お問い合わせ：中部北環境施設組合 ☎972-6619

ごみを減らす4R運動を実践しよう。

ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。そこでごみを減らす4つのRを心がけて、環境にやさしく、大切な資源として活かす取り組みを始め、ごみ減量へのご協力をお願いします。

1 リフューズのR → ごみを持ち込まない。

- 不要な物は買わない、貰わない。
- ごみになる物は断る。
- マイバックを持参しよう。

3 リユースのR → 再使用する。

- 使えるよう修理してみる。
- 別の使い方を考える。
- 欲しい人にゆずる。

2 リデュースのR → ごみを減らす。

- 必要なものを必要な量だけ購入する。
- 食品を買すぎない、作りすぎない、食べ残さない。
- 生ごみは十分な水切りをする。(生ごみの約8割は水分)

4 リサイクルのR → 再利用する。

- 資源を正しく分別する。
- 買ったお店で回収ボックスを利用する。
- 生ごみを堆肥にする。